





幼稚園 Kindergarten



岸本 あづさ 幼童園保護者会会長

陽春の暖かな日差しの中、緊張と期待を胸に入園したのがつい先日のことのように感じます。卒園までの三年間は本当にあっという間でした。

恥ずかしがり屋で上手におしゃべりができなかった年少さん。お友達と仲良くできているかしら？毎日心配でたまりませんでした。

大好きなお友達が増えた年中さん。プランコやおうちごっこ、泥団子にも挑戦しました。

お友達と協力して一から作り上げた年長ゆりきくの日。素敵な役がたくさん増えたページェント。子どもたちの讃美歌の純粋な歌声に涙が溢れました。

毎日繋いだ温かい手からたくさんの元気をもらいました。今、大きくなったその手で大きな夢をつかめるよう、これからも一番近くで見守り続けていきたいです。

神様にまもられて過ごした三年間、子どもたちにたくさんの愛をくださった先生方。共に子どもたちの成長を見守り続けた保護者のみなさま。全ての方に感謝を申し上げます。

幼稚園年長組担任 幼童園年長組担任

ゆり組きく組の皆さんへ

皆のアイデアが詰まった「ゆりきくの日（宿泊行事の代わり）」や「あおりんびっく（運動会）」。年長組になると、友だちと気持ちを合わせて作り上げていくことがこんなににもできるのだなと感心して過ごしていました。「ゆりきくみんなのうた」は、皆で歌詞を考えましたね。

「1人よりも2人、皆とやるから楽しい」「喧嘩もたくさんしたけれど、仲直りをするのもっと仲良になれる」「友だちといると心強い」

どの言葉も友だちへの想いが詰まっていて、一人ひとりが大切な仲間として歩んでいるのだなと感じました。

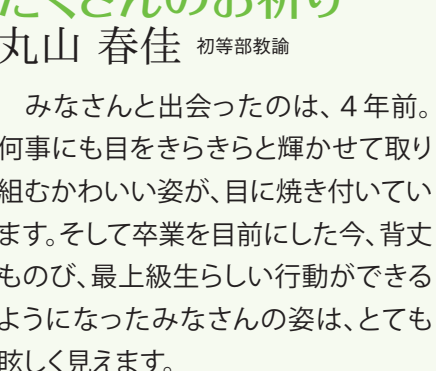
皆さんは1人ではありません。友だちがいます。家族がいます。そしてあなたのことを愛してくださる神さまがいつも手を握って一緒に歩いてくださっています。

安心して歩いていってください。でももし寂しいことや困ったことがあったらいつでも幼稚園にきてください。皆さんのことをいつもお祈りしている先生たちが待っています。

ご卒園おめでとうございます。



初等部 Elementary School



丸山 春佳 初等部教諭

みなさんとお会ったのは、4年前。何事にも目をきらきらと輝かせて取り組むかわいい姿が、目に焼き付いています。そして卒業を目前にした今、背丈もび、最上級生らしい行動ができるようになったみなさんの姿は、とても眩しく見えます。

2年前、私は産休を取りました。私とお腹の赤ちゃんのことを、毎日のお祈りに加えてくれましたね。最後は、「神ともにもいまして」の讃美歌を歌って送り出してくれました。娘が無事生まれてくるまで、不安なことや大変なことたくさんありましたが、みなさんのお祈りや歌声を思い出すたびに「私にはお祈りしてくれる子どもたちがいるから大丈夫。」と思うことができました。本当にありがとうございます。

初等部から巣立った後も、たくさんのお祈りがみなさんを支えてくれます。だから、どんな時も安心して歩んでください。そして、誰かのためにお祈りできるみなさんのままでいてください。ご卒業、おめでとうございます。

初等部で学んだこと

木佐貫 謙 初等部6年

僕は初等部に入学してすぐにこの学校が好きになりました。その理由の一つとして先生が子どもと一緒に遊んだり、子どもの遊びを見守ったりしてくれて安心したというのがあると思います。

僕が初等部生活で苦手だったものは宿泊行事でした。でも、そのおかげで自然を通して神さまの恵みを感じられました。また、宿泊行事があったからこそ荷物整理を含む自立を学びました。

神さまは僕にとっていつも見守っていてくださる存在です。そのため、僕は低学年の頃苦手だった水泳等の心配なこと、不安なことがある度にいつも神様にお祈りをして頑張ってきました。

初等部で学んだ、五つのおやくそくや聖書の「人にしてもらいたいと思うことはなんでも、あなた方も人にしなさい。」は初等部生活で少しはできたかなと思うので、これを中部やその先でも生かしていきたいです。

6年間通い続けた初等部と別れるのは寂しいです。将来、教師になってこの初等部に戻ってきたいと思います。



人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

ルカによる福音書 六章三十一節 伝道部科長

特集 Graduate from Aoyama Gakuin

卒業する いま

新しい一歩を踏み出す人、仲間を送り出す人——。各部の方に、今の思いをききました。

言葉の力

杉田 輝星 高等部3年

3年間の高等部生活は一瞬でした。コロナで多くのことが制限されましたが、限られた環境の中でも学校に通えたことに感謝したいです。

私がコロナ禍を乗り越えられたのは、「明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」(マタイ6:34)という聖書の言葉が心の支えになったからだと思います。

私は水泳部で部長を務めていました。部長としての1年間は大変なことばかりで、特にコロナによって部活動が禁止・制限されていた時は、自分を含め部員のモチベーションを保つために非常に苦悩しました。しかし、この聖句を知ってから、活動ができるかどうかや大会の有無といったことを考えるのではなく、今どうするべきかを考える必要があると気づくことができ、最後は全てやりきって引退することができました。

高校2年と3年で礼拝委員だったということもあり、聖書の言葉に触れることが多く、とても励まされました。大学生になってからも、新たなことに挑戦していく上で、様々な困難に直面すると思います。そんな時に、高等部の礼拝で聞いた聖句やお話を思い出して、自分の人生をより豊かにしていきたいです。



高等部卒業礼拝

言葉の力

杉田 輝星 高等部3年

3年間の高等部生活は一瞬でした。コロナで多くのことが制限されましたが、限られた環境の中でも学校に通えたことに感謝したいです。

私がコロナ禍を乗り越えられたのは、「明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」(マタイ6:34)という聖書の言葉が心の支えになったからだと思います。

私は水泳部で部長を務めていました。部長としての1年間は大変なことばかりで、特にコロナによって部活動が禁止・制限されていた時は、自分を含め部員のモチベーションを保つために非常に苦悩しました。しかし、この聖句を知ってから、活動ができるかどうかや大会の有無といったことを考えるのではなく、今どうするべきかを考える必要があると気づくことができ、最後は全てやりきって引退することができました。

高校2年と3年で礼拝委員だったということもあり、聖書の言葉に触れることが多く、とても励まされました。大学生になってからも、新たなことに挑戦していく上で、様々な困難に直面すると思います。そんな時に、高等部の礼拝で聞いた聖句やお話を思い出して、自分の人生をより豊かにしていきたいです。



高等部卒業礼拝

歩んでいこう

古田 しおん 女子短期大学専攻科子ども学専攻

「青短最後の学生」と言われた生活も終わりに近づき、皆が新しい地へ向かって行こうとする今、青短という学びの場もファイナルステージを迎えようとしています。

多くの学生が通ったキャンパスも今年度は40数名になっていました。校舎がガランとすると思いきや、大学に行く度いつも誰かの笑い声が聞こえ、先生や副さんが私たちを気にかけて、暖かく迎えてくれました。心地よく暖かい私のホームだと何度も思わされました。

だからこそ、「ただいま」と帰れる場所がなくなることは寂しく、不安も感じます。けれど、ここで学んできたかけがえのない日々の積み重ねは私たちの心の中で生き続けます。「あなたが何を考えできたか」それがいまのあなたそのもの」(谷川俊太郎「こころの色」、『すこやかに おだやかに しなやかに』佼成出版社、2006年)。私たちが学び得てきたものはこの先も輝き続けることでしょう。

さあ「地の塩、世の光」として、それぞれが違わされる場で、賜物を活かし歩んでいこう。感謝を胸に、そう思います。



総合科目 子ども(紙コップのワークショップ)

「始まりの旅」への祈り

横堀 昌子 元・女子短期大学子ども学科教授 (現・大学コミュニケーション科学部 教授)

巣立ちの春を心よりお祝います。青短の学生募集停止を知りながら入学された皆さん。「間に合ってよかった」とも聞きました。この時期だからこそ、学生・教職員がより近く語り、創り出した営みのすべてを誇りに思い、深く感謝します。

人が育ちゆくことや紡ぎあう暮らしの奥深さに出会い、人間社会を探究する。新しい文化を他者とともにしなやかに創造する。心を動かし育んだ日々は何と豊かに彩られたことでしょう。「わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように」(フィリピの信徒への手紙1章9-10節)。私たちに未来から寄せられる期待が香り立ちます。ここまで元氣よく駆け抜け、世界で活躍する6万人を超える青短卒業生の輪に加わる皆さん。つながりはすでに在り、一人ひとりが「青短」です。だから大丈夫。翼の力を確かめ、行ってらっしゃい！いかなるときも顔を上げ、新しい可能性に満ちた「始まりの旅」に。



美術特別演習(クリスマスリース制作)

中部 Junior High School



西野 優花 中部部3年

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じるものが一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネ3:16)

この聖句はクリスマスのためのものだと思っていました。けれど中部部3年間で失敗した時や、自分自身が嫌いになる時でも、どんな自分でも神様は受け入れてくださっていると感じられる聖句になりました。フットプリントの詩のように、神様が私といつも一緒にいて励まし続けてくださる経験をしたからです。「優花は神様の宝物」と教えてくれた闘病中だった祖母。コロナ禍で会えず、病院ではテレビ電話もできません。私が今までで一番お祈りした時期でした。

今、祖母は天国にいて、お祈りが全て私の望み通りにはなりませんでしたが、毎日の礼拝で聞くメッセージや賛美歌に共感することもあり、悲しく心細い時にも神様を身近に感じ、自分でも不思議ですが、受け入れることができました。これからも、神様に導かれて祈りつつ歩んでいきたいと思っています。

そばにいてくださる神様

西野 優花 中部部3年

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じるものが一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネ3:16)

この聖句はクリスマスのためのものだと思っていました。けれど中部部3年間で失敗した時や、自分自身が嫌いになる時でも、どんな自分でも神様は受け入れてくださっていると感じられる聖句になりました。フットプリントの詩のように、神様が私といつも一緒にいて励まし続けてくださる経験をしたからです。「優花は神様の宝物」と教えてくれた闘病中だった祖母。コロナ禍で会えず、病院ではテレビ電話もできません。私が今までで一番お祈りした時期でした。

今、祖母は天国にいて、お祈りが全て私の望み通りにはなりませんでしたが、毎日の礼拝で聞くメッセージや賛美歌に共感することもあり、悲しく心細い時にも神様を身近に感じ、自分でも不思議ですが、受け入れることができました。これからも、神様に導かれて祈りつつ歩んでいきたいと思っています。

いつまでも、愛とともに

岩佐 大助 中部部教諭

聖書のコリント信徒への手紙 1 13章4節に、「愛は忍耐強い」とあります。

73期の皆さんにとって、中部部生活のうち1年生学年末からの約2年間は、忍耐が必要な期間だったと思います。コロナ感染症のために数々の学校行事が中止・縮小され、日常生活でも休み時間やクラブ活動に至るまで、多くのことが制限されてしまいました。しかしそんな中でも73期生は卑屈になることなく、この状況下でできることを考え、それにとっても前向きに取り組んでくれました。そんな姿を目にする度に、

私は「なんて素敵な生徒たちなのだろう」と思ってきました。

まだ完全に鎮まることのないコロナの不安の中、3年間でたくましく成長した73期生は、それぞれの新しい環境に飛び立ちます。そんな73期生を、皆さんの「愛」を感じながら共に過ごした我々中部部の教員は、いつまでも応援しています。

これからも「愛」が溢れる素敵な皆さんであることを願いつつ、心から、ご卒業おめでとうございます。

大学 University



尾作 菜々子 大学教育人間科学部教育学科4年

私は、中高大の10年間、キリスト教学校に通ったことになります。キリスト教は愛に溢れています。私は大学生活の中で沢山の愛に触れてきました。尊敬できる学科の友人・ボランティア先で出会った人々・趣味を共有したサークルの友人。このような人々との出会いを通して多様な価値観に触れながら、人間関係の中に成り立つ愛の素晴らしさを感じました。しかし、3・4年の時期はコロナ禍で何気ない人間関係を持つことが困難になりました。人が直接関わるからこそ生まれる温かい感情が私は好きなのだ改めて実感させられました。

流動的な青学生生活の中で、私は愛を具現化できる小学校教員を志すようになりました。「We all gifted」これは私の好きなアーティストの歌の歌詞です。人にはそれぞれ賜物が与えられています。しかし、その賜物が陰に隠れ上手く活かせない人もいます。これからは、子どもたち各々の賜物を見出し、最適なかたちで活かし、それを愛することのできる教師になりたいと切に願います。

やっではいけない苦労がある

塩谷 直也 大学宗教部長

「苦労は買ってでもしろ」との言葉があります。確かに若い時の苦労は、後々役に立つものです。私自身も20代、30代の苦労が今の実りになっていることを痛感します。卒業生の皆さん、苦労を避けず正面から立ち向かってくださいな。

ただ世の中には「買ってはいけない苦労」があります。それは「私さえ我慢すればうまくいく」と自分に言い聞かせる苦労です。この手の苦労は日々自分を痛めつけ、辱めます。苦労するほど自分のことが嫌いになり、周囲への怒りと憎しみを育て、やがてあなたの生きる力まで奪われます。

いいですか、あなた一人が我慢しても現実には変わりません。周囲はあなたが我慢していることなど気にも留めません。どうぞ背負う苦労なら、「私はもう我慢しません。傷ついていい人など一人もいません。私は自分を守ります」と発言し行動する苦難、「十字架」を選びなさい。その時、神様に造られ、愛されている本来のあなたが輝き始めます。

主が共におられます。お元気で。

